



近江八幡市方面での宿泊研修を実施しました!

発行日:2014/9/17 発行元:里親学生支援室

「近江八幡市方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月28日(木)～29日(金)の夏季休業期間を利用してNPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で宿泊研修を実施しました。里親登録学生を含めた本学学生18名を始めとして、総勢31名での研修となりました。

1日目 日本で唯一淡水湖に人が住む島である沖島を見学
地域の中核病院である近江八幡市立総合医療センターを訪問、夜は、地域の先生にご講演いただいたり、地域の方々との交流会を実施

2日目 旧近江八幡市内を見学
地域の慢性期医療を支えるヴォーリス記念病院を訪問

滋賀医大

沖島 (説明・見学)

沖島診療所 (見学)

近江八幡市立総合医療センター (説明・見学)

交流会

近江八幡市旧市街地 (説明・見学)

ヴォーリス記念病院 (説明・見学)

宿舎

【第1部】近江八幡市蒲生郡医師会 副会長 山本克興氏から「近江八幡地域における医師会活動と沖島等での医療活動の実情等について」、また、ヴォーリス記念病院 在宅サービス部門長(兼)訪問看護ステーション・ヴォーリス 所長 向 美保氏から「訪問看護ステーションでの活動報告」と題して、ご講演をいただきました。

【第2部】研修先の方や里親・プチ里親など名の方々に、それぞれのお立場からご意見をいただくなど、情報交換や交流の場となりました。

近江八幡市立総合医療センター

近江八幡市の地域医療をどのように前進させていくかということについて、医療センターの方々がある明らかな意識と情熱を感じました。〈医学科 2年〉

交流会

地域の皆様との交流会では患者さん代表として出席なさっていたプチ里親の方とお話しする機会があり、多くを学ばせていただきました。〈医学科 3年〉

ヴォーリス建築・八幡堀・八幡山

沖島や近江八幡の散策で知らない場所に沢山行ききました。「こんないいところがあるのか」と五感で感じる事ができました。〈医学科 1年〉

ヴォーリス記念病院

ホスピスに限らず患者さんとの心を通わせることの大切さはどの医療現場でも同じことだと思います。私は患者さん一人一人の思いを大切に、患者さんを手放さずサポートしていけるような医師を目指したいと思います。〈医学科 2年〉

交流会1部・2部

病気の状態によって、病院や診療所が分担をしているということでした。病院を病態によって転院するためには、お互いの情報共有、ネットワークが重要だということを知りました。〈医学科 3年〉

沖島

沖島ののどかで、ゆっくりとした時間の流れが心地よかったです。医療チームと患者さんやご家族との近くてあたたかい関係が地域医療の魅力の一つだと肌で感じました。〈医学科 2年〉

近江八幡市立総合医療センター

総合医療センターは全面ガラス張りで自然光を入れた明るい病棟、セクション毎に整理されたアクセスしやすい外来、また、急性期に特化した受け入れ態勢万全の救急といった設備面の充実が印象的でした。〈医学科 2年〉

沖島

様々な不便な面も知って、それでもこの島を好きで住んでいらっしゃる方々を地域医療が守っていかなければならないのだと見学しながら深く考えさせられました。〈医学科 4年〉

他職種の学生同士で地域医療を学び交流する事は私の中で漠然としていたチーム医療や地域医療に対するイメージをより身近に感じる事ができました。〈看護学科 3年(近江八幡市立看護専門学校)〉

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!

地域里親学生支援のホームページ
[\(http://satooya.shiga-med.ac.jp/\)](http://satooya.shiga-med.ac.jp/) をご覧ください!